

## 消費者団体と北陸農政局との意見交換会（福井県）の概要

日時：令和元年12月10日（火曜日）

場所：北陸農政局福井県拠点2階会議室

北陸農政局は、消費者の農林水産行政に対する信頼確保や理解の浸透を図ることを目的として、「消費者団体と北陸農政局との意見交換会」を開催しています。今回は、「安全で健やかな食生活を送るために ～アクリルアミドを減らすために家庭でできること～」をテーマに、福井県内消費者団体の代表者等13名と開催しました。



【二階堂部長の挨拶】

最初に、北陸農政局消費・安全部の二階堂消費・安全部長から、本題である「安全で健やかな食生活を送るために ～アクリルアミドを減らすために家庭でできること～」のテーマについて忌憚のない意見等、活発な意見交換会となるようお願いの挨拶を行い、開会となりました。

北陸農政局消費・安全部消費生活課からテーマについての説明を行い、出席された消費者団体等の皆様と意見交換を行いました。

その後、「平成30年度食料・農業・農村白書」について、大臣官房広報評価課情報分析室 伊佐室長より情報提供を行いました。

最後に、北陸農政局福井県拠点 原田総括農政推進官から、閉会の挨拶を行い、意見交換会を閉めました。



【意見交換の様子】



【伊佐室長からの情報提供】

## 【消費者団体との意見交換内容】

○アクリルアミドの生成について、普通の植物油とオリーブオイルなど油の種類による違いはあるのか。

→油の種類がアクリルアミドの生成量に及ぼす影響については明確になっていません。油を使った調理では、加熱温度や加熱時間がアクリルアミドの生成量に関係しますので、焦がしすぎない、加熱温度を低くするなどの工夫をしていただきたい。

○コーヒーにアクリルアミドが含まれているというのはどういうことか。

→コーヒーは焙煎する工程でアクリルアミドが生成すると考えられています。焙煎工程はコーヒーの味や香りに大きく影響しますので、現在、国内外を通じて、アクリルアミドを低減できる対策は確認されていません。農林水産省も情報収集しているところです。

○摂取されたアクリルアミドは、どうなるのか教えていただきたい。

→アクリルアミドは水に非常に溶けやすい性質があるため、ほとんどのアクリルアミドは1～2日で尿として対外に排出されます。

○今日の話の中では、アクリルアミドの発生量や平均摂取量の話はありましたが、どのくらいの量を摂取すると危険度が増すというような指標はあるのか。

→アクリルアミドという物質は、遺伝毒性発がん物質ということで、たとえ微量であってもDNAを傷つけてしまう可能性があります。ただし、これが直接がんと結びつくかというところの確たる証拠は得られていません。というのも、実際のがんの原因としては、タバコや飲酒、塩分の摂り過ぎなどがあり、アクリルアミドがどのくらい影響されているかということは明確になっていません。

このようなことから、摂取量の指標のようなものは設定されていません。

○アクリルアミドの低減方法について、他の者に話をする際のポイントを教えていただきたい。

→家庭での低減方法のポイントについて冊子（「アクリルアミドを減らすために家庭でできること」詳細版）で紹介しているので、活用していただきたい。また、講演を希望される場合は、消費生活課に連絡いただきますようお願いいたします。

意見交換会出席者

**【消費者団体】** (8団体、13名)

福井県連合婦人会、J A福井県女性組織協議会、  
福井県漁協女性部連合協議会、福井県消費生活研究会、  
(公社)ふくい・くらしの研究所、福井県生活協同組合連合会、  
福井県消費者グループ連絡協議会、(公社)福井県栄養士会、

**【講師】**

北陸農政局消費・安全部消費生活課

**【農林水産省】**

大臣官房広報評価課情報分析室長

**【北陸農政局】**

北陸農政局消費・安全部長

北陸農政局消費・安全部消費生活課長

北陸農政局福井県拠点地方参事官室総括農政推進官 等